

● 防耐火性能（防耐火性能が失われるまでの時間）

高さ3,000mm×幅3,000mmの大型壁炉による試験
防耐火試験の加熱は屋外（外壁側）と屋内（内壁側）からそれぞれ行い、
防耐火性能が失われるまでの時間を計測し、各断熱材使用による防耐火性能を比較しました。

■ 要求性能

	性能		
	〈非損傷性〉 加熱開始後、構造耐力に 支障のある変形、破損等の 損傷が生じないこと	〈遮熱性〉 加熱開始後、当該加熱面以外 の温度が可燃物燃焼温度 以上に達しないこと	〈遮炎性〉 加熱開始後、火災を出す 原因となるき裂等の損傷が 非加熱壁面に生じないこと
屋内加熱	○	○	○
屋外加熱	○	—	○

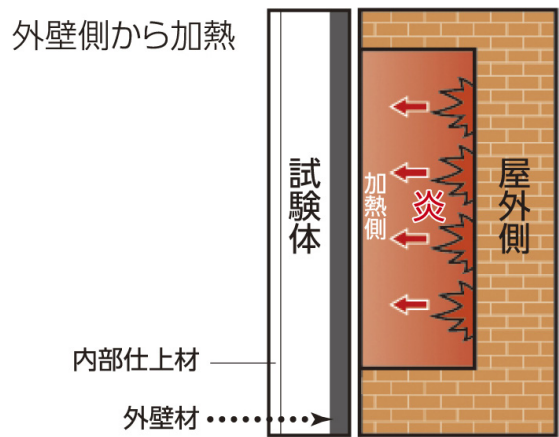
○：要求性能

■ 判断基準

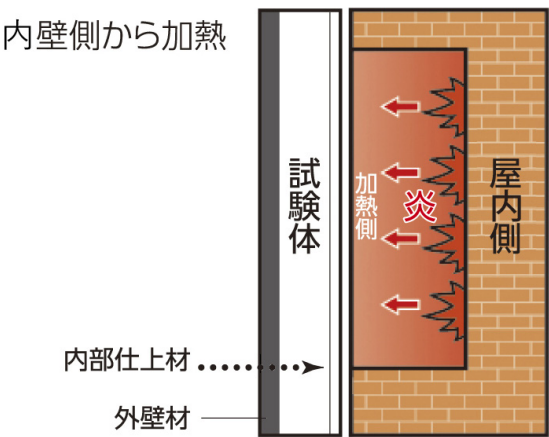
上記3つの要求性能のうち、加熱開始後どれか1つが失われた時点の時間を計測し、防耐火性能が失われるまでの時間が長ければ、防耐火性能は高いと判断します。
時間が長い＝防耐火性能が高い

■ 加熱方向（出展：ロックウール工業会）

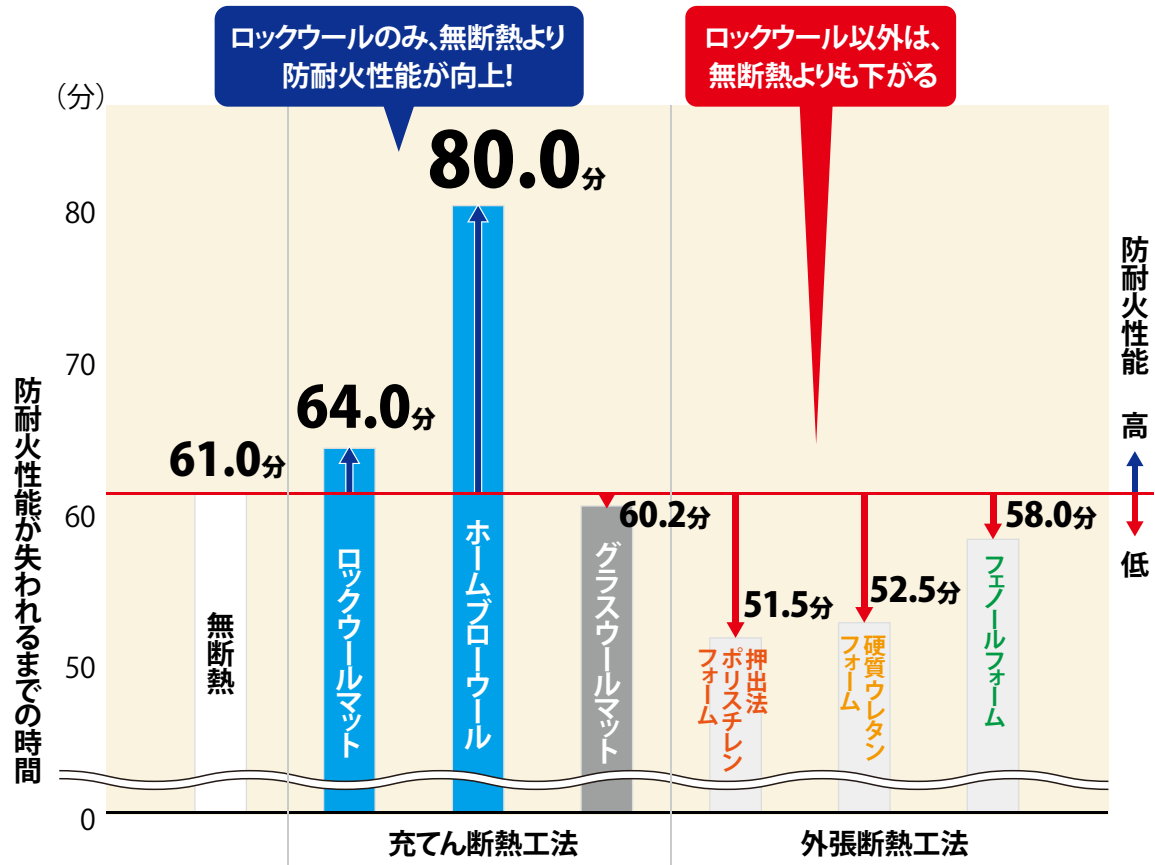
〔屋外加熱〕



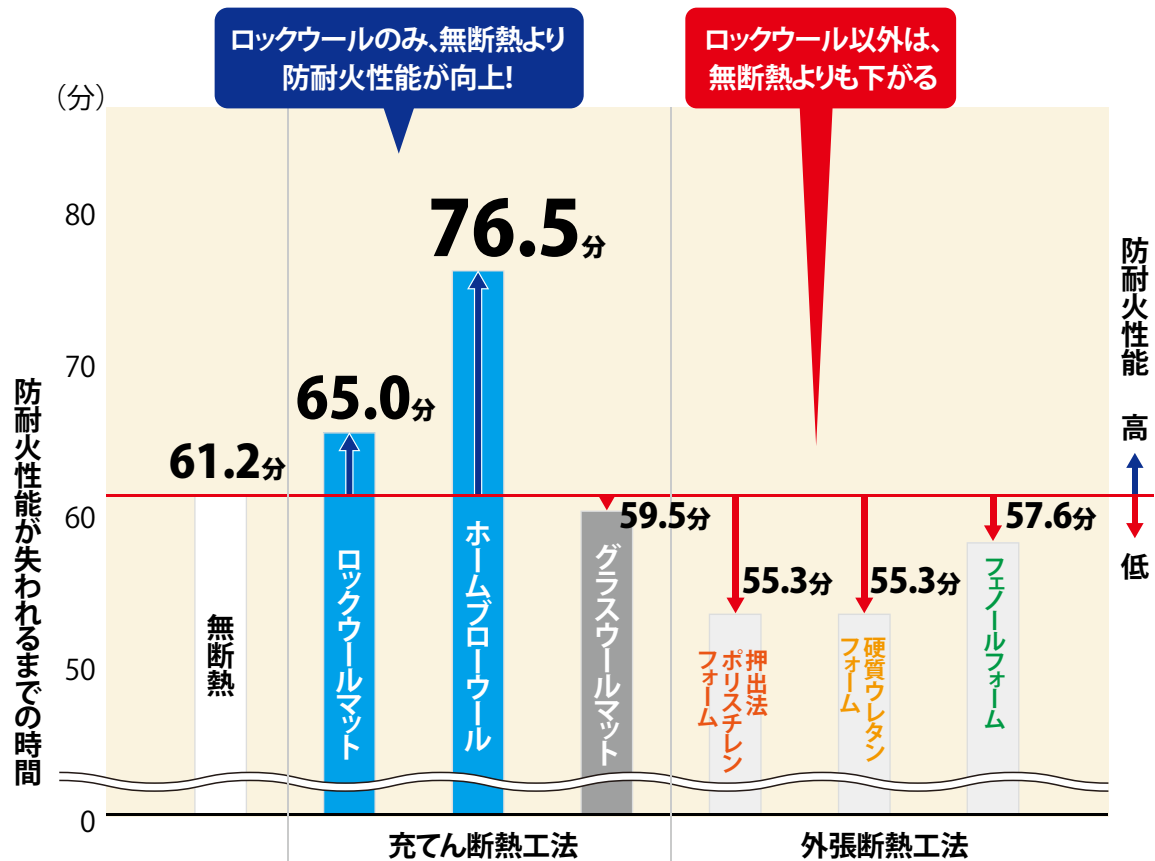
〔屋内加熱〕



■屋外加熱の場合



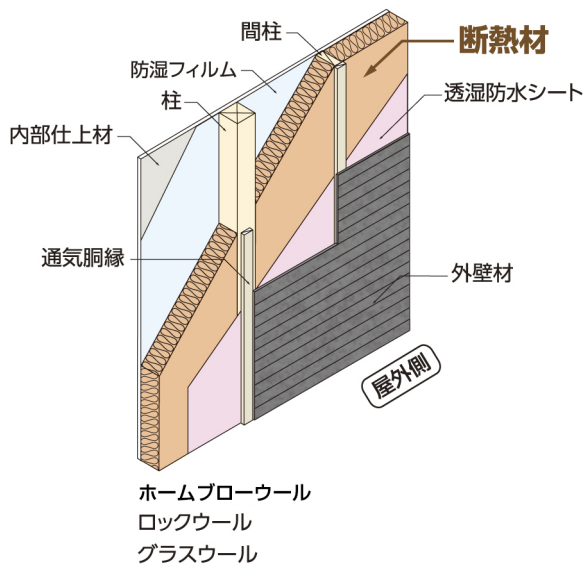
■屋内加熱の場合



■ 充てん断熱工法 (出展:ロックウール工業会)

○ 充てん断熱工法とは

ロックウールやグラスウールなどの繊維系断熱材を柱間に充てんする工法です。



■ 外張断熱工法 (出展:ロックウール工業会)

○ 外張断熱工法とは

発泡プラスチック系のボード状断熱材を柱の外側に張る工法です。

